

# むらさきそら

西東京市立田無第一中学校

校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37 (電話) 042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <http://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>

## 「多様性ということ」

校長 辻 康一

最近、社会ではダイバーシティという言葉を目にする事が多くなりました。日本語にすると「多様性」という意味になります。「多様性」とは、全く違うたくさんの人や物の集まりのことを示す言葉です。ですが、これは目に見える違いだけではなく、考え方や信じているもの、大切にしているものなど、目に見えないものも含まれる言葉です。

この多様性について考える資料として新聞広告クリエイティブコンテスト 2013 最優秀賞を受賞した「めでたし、めでたし」のポスターを紹介します。このポスターは桃太郎に出てくる鬼の子供が主役になっています。ここには、涙を流した鬼の子供がたどたどしい文字で「ボクのお父さんは。桃太郎というやつに殺されました」と記しています。そしてポスターの下の方には「一方的な『めでたし、めでたし』を生まないために。広げよう、あなたがみている世界」と小さくコメントが書かれています。

ある人にとって幸せとすることが、別の人から見れば、そう思えないことがあるかもしれません。反対の立場に立ってみたら、少し見方を変えてみたら、別の時代だったら、別の国だったら…どの立場でその出来事を見つめるかによって、幸せは変わるかもしれません。

生徒たちには、この、昔話で当たり前に使われてきた「めでたし、めでたし」が別の立場で見たらそうではないかもしれないという考え方、そして別の立場で見ることができる力、すなわち「物事を多面的に見て、多様性を受け入れる力」を身に付けてほしいと思っています。

「人は皆同じ 人は皆違う」全く逆のことを言っていますが、「人は人間として皆同じであるのと同時に、人は皆違う人間」です。一人一人が皆、同じで違うという多様性を認め合うことがすべての土台になります。6月はふれあい月間でいじめアンケートも行われます。これからも、誰もが安全で安心して生活できる温かい学校を「みんなで」つくっていきたいと思います。

## 生徒総会が行われました

5月19日の6時間目に生徒総会が行われました。昨年度から、コロナ前と同じように体育館で全校生徒が集まって行うようになりました。委員長は、この日のためにスライドや原稿を作成したり、人前で発表する練習をしたりして、中間考査前でもしっかりと準備を進めてきました。当日は、その準備の成果もあり、どの学級委員長も専門委員長も堂々とした姿で委員会の活動方針・活動内容を提案していました。しかし、壇上に上がって発表する生徒はごくわずか。生徒総会は、“壇上に上がらない生徒”がどのような態度で参加するかで成功かそうでないかが決まります。それでも、どの学年の生徒も、議案書を見ながら真剣に委員長たちの声に耳を傾けていました。その意味では、今回の生徒総会は“成功”だったと思います。これからが委員会活動のスタートです。「昨年がこうだったから」という考えよりも「今年はこうしてみよう！」といった考えで、今よりもより良い田無一中を目指していきましょう！前期の活動が終わったときにどんな田無一中になっているか楽しみにしています。



(生徒会担当 阿部)

## 運動会が行われました！

### 第1学年

大縄跳びをクラス全員で跳ぶと知った時、全員で跳ぶというイメージもわからず、並び方も分かりませんでした。練習中も1回がなかなか跳べず、1回跳べただけでも、クラスの皆が笑顔になり、喜びの歓声が響きました。予行練習の日、先輩が跳ぶ姿を見て、圧倒的な違いに驚くとともに目標が見えたようで、本番に向けて最後の練習ではクラスで一丸となって練習に臨んでいました。他の種目も一步一步、前進できたと思います。皆で何かを成し遂げることの「難しさ」と成功した時の「喜び」を学べた運動会になりました。

また、運動会の成功の裏には、実行委員がいます。彼らは、懸命に自分がこなさなくてはならない仕事に、全力で取り組んでいました。初めてのことも多く、何一つとして簡単なことはなかったと思います。仲間との成功を目指し意欲的に取り組む12人の姿を素晴らしいと思いました。そんな実行委員の姿から、次は自分も仲間のために頑張りたいという思いをもった生徒が学年に増えていたら嬉しく思います。(保健体育科 恩田)

### 第2学年

クラス替えをして間もない4月上旬から運動会練習に励んできた2学年。初めての大縄練習はどのクラスも1回跳べるかどうか。そんなことを思い出しながら見た運動会当日の2年生の姿はとても頼もしいものでした。そこにたどり着くまでに、各クラスたくさんのドラマがありました。実行委員会は、ほぼ毎日遅くまで残り、リレーの走順や『台風の目』の作戦を練ったりしていました。昨年のクラスでの反省をいかしながら練習に取り組む姿、時間を気にしながら声をかけたり、全員で「わっか」になって話し合いをしたりする様子を見て「成長したなあ」と嬉しい気持ちになりました。そして何より感動したのは、予行練習、学年練習、本番で見せた各クラスの円陣です。運動会、クラスに対する熱い想いが伝わってきました。

来年はついに最上級生。どれだけ素晴らしいものを‘魅せて‘‘くれるのでしょうか…。



(保健体育科 中村)

### 第3学年

4年ぶりに3学年揃った運動会。最上級生として、行進から威風堂々たる姿を見せてくれました。4月から練習が始まり、総合優勝に向けてクラスの中で話し合いを重ね、成長していく過程を見ていると、他の学年にない熱意を感じられました。運動会の最後、運動会実行委員長の開会の言葉、その中に「僕たちが憧れながらも、できなかった学校行事がこれから復活していく」という言葉がありました。大人たちが当たり前のように経験してきた、学校全体での運動会が彼らには【憧れ】のものであり、今回の運動会をどれだけ生徒たちが待ち望んでいたのかを再度実感しました。

3年間の集大成となった運動会、生徒のスポーツを楽しむ心からの笑顔や、仲間と協力する姿を後輩の生徒や保護者の方に見ていただけて嬉しく思います。そして多くの感動をくれた生徒たちには感謝したいです。



(保健体育科 佐藤)

### I・J学級

今年度の運動会はI・J学級だけで行うのではなく、1年生・2年生・3年生と一緒に競技に取り組みました。毎回の体育の授業の時間を大切にし、整列の仕方や行進練習とコツコツと本番まで練習を行いました。またI・J学級は1年生・2年生・3年生の学年練習に全て参加しました。5月の中旬で、とても急激に気温が高くなった時期でした。3日間連続で続いた学年練習は決して楽なものではありませんでした。暑さに負けず、体調も整えながら学年練習に取り組みました。連日の学年練習を重ね、1年生・2年生・3年生の姿にパワーをもらい、I・J学級全体の雰囲気が変わり、より本番に向けて気持ちを高めることができました。運動会本番は晴天に恵まれ、1年生全員リレー、2年生台風の目、3年生大縄のそれぞれの種目に力を発揮し、「一生懸命努力をし、個人の個性を尊重し合える運動会」というスローガンを達成できました。(I・J学級 保健体育科 野上)